

「認知症とともに生きる～大牟田市の取り組みに学ぶ～」

研修会報告

更新日 平成 30 年 12 月

平成 30 年 11 月 16 日、「認知症とともに生きる～大牟田市の取り組みに学ぶ～」と題し、壱岐地域リハビリテーションセンター広域支援センター主催で講演会を開催しましたので、その講演会の概要についてご報告いたします。

今回は講師の先生に、医療法人静光園 白川病院 医療連携室長の猿渡進平先生と大牟田市役所保健福祉部の竹下一樹先生をお招きしました。

勉強会概要

【日時】

平成 30 年 11 月 16 日(金)
午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分まで

【場所】

芦辺町クオリティライフセンター つばさ

【参加者】

147 名



【内容】

講演 1 「認知症にやさしいまちづくりとは」

講師：竹下 一樹先生

講演 2 「認知症フレンドリーなまちづくりへの挑戦」

講師：猿渡 進平先生

【感想】

大牟田市の取り組み、認知症フレンドリーなまちづくりへの挑戦を受講して、認知症になっても自分らしく暮らすことが出来るように街づくりがなされていることを知りました。それまでの経過などを学び、地域の人たちの連携の重要性、認知症に対する理解が得られていることを知りました。日本の認知症患者数は 2016 年度時点で、厚生労働省の調査報告によると、全国で 462 万人と推定されていて 2026 年には 700 万人を超えると予測されています。認知症になっても、その方々が安心して在宅で自分らしく暮らせるような街づくりを行うことが、壱岐だけでなく日本全体の課題だと感じました。

